

群馬ゼロ災協、平成31年度通常総会を開催

群馬県ゼロ災害運動推進協議会（会長：堀口廣政。以下、「群馬ゼロ災協」と略。）は、3月1日（金）午後3時よりホテルラシーネ新前橋において、関係行政機関、団体より大勢のご来賓の臨席のもと、平成31年度の通常総会を盛大に開催した。出席者は70名。

全員で指差唱和を行った後、挨拶に立った堀口会長は、「群馬ゼロ災協では、労働災害を防止するため、KYTリーダー研修の実施等を通じて、全員参加で安全衛生を先取りするゼロ災の普及と人材の育成に努めてきた。引続き関係行政機関等の支援と協力を仰ぎつつ、活動内容の一層の充実に努め、また新規会員の加入促進にも努力して参りたい。」と理解と協力を呼びかけた。

議案審議においては、各議題とも、すべて提案どおり、全会一致をもって議決した。

来賓を代表し、群馬労働局労働基準部長（代理出席：飯泉健康安全課長補佐）より祝辞を賜った。

総会終了後に行った特別講演では、講師に招いた曹洞宗長昌寺の栗木住職より、『慈悲善隣 明治以後の社会事業』について講話を拝聴した。

最後は、意見交換会において、和やかな雰囲気の中、情報交換と親睦・交流を図った。



全員で指差唱和



挨拶する堀口会長



来賓祝辞



特別講演